

# 生活単元学習の授業づくりに関する研究

—各教科等とのつながりのある単元設定から学習評価までの考え方—

特別支援教育室 水野由美 山田亜紀 越智宣和  
 田中百合 玉乃井美穂  
 研究協力者 愛媛大学大学院教育学研究科教授 櫻木暢子

## 1 研究の目的

特別支援学校学習指導要領では、指導と評価の一体化の必要性が明確に示された。授業改善の一連の過程に学習評価を適切に位置付けることが求められており、「各教科等を合わせた指導」において、各教科等の目標や内容を取り扱い、それに準拠した評価の実施を目指すとの方針も、明確に示された。

「各教科等を合わせた指導」の中でも生活単元学習は、知的障がいのある児童生徒に対して有効な指導の形態として、特別支援学校等の教育課程に位置付けられてきた。しかし、各教科等との関連や学習評価の在り方についてまとめたものは少ないのが現状である。

そこで、生活単元学習の授業に焦点を当て、令和2・3年度の研究成果である「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを基盤とした、各教科等とのつながりのある授業づくりや学習評価の在り方に関する資料を作成し提供することで、特別支援学級等での授業づくりを支援することができると考え、2年間継続の研究として取り組むこととした。本年度は、その2年次である。

## 2 研究の内容

### (1) 1年次の取組

#### ア 「ガイドブック」の原案の作成

生活単元学習における各教科の目標と学習活動の関連や、学習評価の在り方について検討した。授業づくりの過程を10に分けて、「ガイドブック」の原案（以下「ガイドブック（案）」という。）を作成した。

#### イ 研究員への意見聴取及び原案の改善

研究員として、県内の小・中学校で生活単元学習を実施している知的障がい特別支援学級担任（4名）に依頼し、「ガイドブック（案）」の内容について、アンケート調査と意見交換会（ウェブ会議システム）により意見聴取を行い、研究協力者の助言と合わせて改善を行った。

### (2) 2年次の取組

#### ア 実践モデル事例の作成

「ガイドブック（案）」の課題改善や考え方等の参考となる資料とすることを目的として、架空の小・中学校知的障がい特別支援学級を想定し、過程に沿って実践モデル事例を作成した。

#### イ Excel補助シートの作成

授業づくりを行う際の作業がしやすくなるよう、Excel補助シート（「学習目標段階Check表」「合わせた教科と時数の確認シート」「年間指導計画作成シート」）を作成した。

#### ウ 授業実践

研究員として、県内の小・中学校で生活単元学習を実施している知的障がい特別支援学級担任（2名）に依頼し、「ガイドブック（案）」に沿った授業づくりを行った。

#### エ 研究員への意見聴取及び考察

研究員への意見聴取の結果から、主な課題として「ガイドブック（案）」の内容を理解することの難しさが明らかになった。

#### オ 「ガイドブック（案）」の改善

研究員の意見及び研究協力者の助言を基に、情報の整理や紙面の見やすさの工夫、分かりやすく伝えるための工夫の2点の改善を行った。

## 3 研究のまとめ

本研究では、「主体的・対話的で深い学び」を実現する生活単元学習の授業づくりガイドブック及び解説動画を作成した。今後は、本研究結果を本センターホームページに掲載するとともに、各種研修講座へ反映させ、生活単元学習の授業づくりの充実に向けた支援を行っていきたい。